校長室通信

平成２５年度
第１６号
下野市立南河内第二中学校
発行者　横　島　　清

Ｈ２５．１２．１９

１　人権を考える朝会６の話から

今月は、１２月１日に世界エイズデーがあり、１２月１０日に世界人権デーもありました。日本では、１２月４日から１０日までを人権週間と定めています。今回の１２月４日の朝会は、人権擁護委員さんに来ていただき、世界子ども人権宣言の話などをうかがいました。

また、私からも重ねて人権の話をしました。辞書には、「人権とは、人間が人間として生まれながら持っている、生命･自由･平等などを保障される権利」と、あります。そのことを「人が人として幸せに生きていけること」と、私は解釈しています。そのために、学校として大切にしたいことは、互いの言葉かけです。自分の価値を下げる、状況や人間関係を悪くする、とげのある言葉はやめよう。代わりに、相手や周囲の人が、明るく温かくなる、希望の持てる言葉を使おうと呼びかけました。

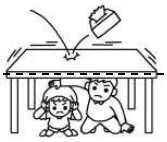
２　避難訓練から

１１月２９日（金）に、今年度２回目の避難訓練を実施しました。今回は、国が推進している緊急時に情報を伝達するシステム、Ｊ－ＡＬＥＲＴ（Ｊアラート）の全国一斉訓練に合わせて実施しました。今回の情報は、「緊急地震速報」でした。１０時１５分の訓練放送に合わせ、本校の避難訓練が実施されました。避難の様子は、大変良好でした。静かに整然と３分５８秒で避難が完了しました。

【「Ｊアラート」について伝えたこと】

①どんな情報か　→　国民の生命に関わる重大事項
- ミサイル、航空攻撃、テロ情報等
- 緊急大地震情報
- 大津波警報、噴火情報
- 竜巻、洪水気象情報　等

②どこから流れるか
- 防災行政無線
  （庁舎、官公庁、学校などの公共施設等）
- 携帯メール（アプリが必要）



③警報が出たら
- テレビ、ラジオで確認
- 決められた避難行動をとる。
  （学校や家での約束事、公の指示に従う）

④まとめ
- 自分の命は自分で守る。
- 正しい判断ができるように訓練を積む。
- 心構えを持って生活する。

３　授業参観・保護者会

１２月７日（土）の授業参観には、多くの保護者の方に参加いただきありがとうございました。土曜日開催ということもあり、お父さんの参加が目立ちました。ご夫婦で参観された方も多くあり、本校教育に関する関心の高さを感じました。

《保護者会での話（伝えたかったこと）》

（１）学校では
- 二中祭が多くの成果と共に終了。学習の充実の時期、多くの研究授業で生徒と共に指導力のレベルアップ、学力の向上を図っている。

（２）家庭で、学力を高めるために
- 冬は、家での自由時間が多い。この時期の家庭学習が大きな飛躍につながる。
- 学力の高い生徒は好ましい生活習慣が付いている。自分を律した生活パターンが確立している。ですから、早寝早起き朝ご飯と、決まった期間の学習習慣をつけること。
- やる気の出る言葉かけが大切。カウンセリングマインドで接する。

（３）情報アプリ「ＬＩＮＥ」に注意
- チャットやツイッターに比べ、はるかに重大な問題発生の危険性がある。
- 問題発生の場合は、学校に連絡して、一緒に解決に当たる。

（４）御礼

創立２０周年を祝うＰＴＡからの記念「紅白まんじゅう」ありがとうございました。

〔 保護者からの学校評価について １ 〕

お忙しいところ、学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。今回より、お寄せいただきました貴重な改善意見や提言を要約掲載し、学校としての考えを述べさせていただきます。失礼かとは思いますが、多くの意見を紙面の関係で要約させていただきました。また、紙面でのお答えですので、意が十分に伝わらないこともあるかと思います。確認したい点がありましたら校長までお話しください。

なお、数値の集計結果については、１２月８日（土）の保護者会で説明した通りです。

《 １ 学習に関すること その１ 》

○授業の改善について

Ｑ；ご意見の要約

・授業を理解していない教科があるので、興味・関心を持たせるようお願いしたい。
・授業が、板書や先生の説明を聞くことが大半で、受け身の授業で活気の見られない授業でした。
・生徒にもう少し考えさせたり、発言するなどの授業があっても良いのかと思います。
・はじめて学校で学ぶ子ども中心の授業をして下さい（授業を大切にして下さい）。
・授業中の知的な騒々しさなら大歓迎です。教科書を教えるのか教科書で教えるのかお考え下さい。

Ａ；お答え

授業は、生徒が学習内容を理解できることが基本です。本校では、学習して“分かった、できた”そして、もっと学びたいと、意欲が出るように指導体制を整え努力しています。しかし、十分でない面も見られます。今後一層、教科への興味・関心が高まる教材研究や指導方法の研修を行い、自信を持って授業に当たれるよう努力していきます。

○宿題・家庭学習について

Ｑ；ご意見の要約

・授業の予習復習の仕方、くり返し学習することの大切さなど、時を見てくり返し話してください。
・家庭学習のために、宿題がもっと多くても良いかと感じています。

Ａ；お答え

今回の教育課程の改訂により、ガイダンス機能の充実がうたわれています。ご指摘のように、年度の初めには、かなり詳しく説明がなされていますが、途中途中でのチェックがなされてません。ある程度定期的に確認していくように努力します。また、教科の特性もありますので、折々にガイダンス機能を充実させていきます。宿題については、複数教科が教科の事情に応じて一斉に出しますので、全体として多くなったり少なくなったり、極端な日はない、ということも起こりえます。そんなときも学習に取り組めるように、学校でも指導していきますので、ご家庭でも取り組む姿勢等の指導をお願いします。

○定期テスト・評価についてについて

Ｑ；ご意見の要約

・教科によっては、適切な評価と思えないものもあります。子どもも親も納得できるような評価をお願いします。
・テスト前の部活動の３日前ではなく、５日から７日にしては頂けませんでしょうか。

Ａ；お答え

評定は、４つの観点（国語は５観点）の絶対評価をもとに総合してつけられます。教科や教材・単元等により、比重が違う場合がありますので４つの観点は同じ割合とは限りません。しかし、先生が出した評定と生徒や親が思っていた評定にできるだけずれがないように通知されるべきだと思います。より客観的な評定となるように努力します。納得がいかない評定については、教科担任に遠慮なく聞いていただき、今後の学習改善につなげていきましょう。テスト前の部活動の休止期間については、会議で検討しお答えします。